愛媛県 東温市

Toon City, Ehime Prefecture

ゆたかさ創造都市「とうおん」

ひと・まち キラリ。

2010

東温市市勢要覧

遠い昔から受け継がれてきた歴史や文化、
水と緑豊かな自然、充実した医療・福祉施設、
恵まれた交通条件を基盤にした産業、
そして、なによりも、人情に厚く、
思いやりにあふれた、ここ東温市に暮らす人々、
これらかけがえのない豊富な財産を
次の世代へ引き継ぐとともに、
市民の一人ひとりが自分らしい生き方を実現できること。
それが、小さくてもキラリと光るまち・東温市の願いです。

Shaped by a history and culture carefully handed down over the ages,
a wondrous natural environment filled with rich water resources and plush greenery, modern medical care and welfare facilities and programs,
industry that stands solidly on excellent transportation networks,
and, more than anything else, the personal warmth and consideration characteristic of the people living in Toon.
Handing down a plethora of such irreplaceable assets to future generations and leading a way of life best suited to each individual,
which are wishes of Toon, a small but radiant city.

ゆたかさ創造都市「とうおん」

ひと・まち キラリ。

Contents
もくじ

4 **キラリ、とうおんライフ**

5 **輝ける憩いの舞台**
人々の憩いの拠点
暮らしを豊かにする和みの場
クローズアップ【とうおん人】

8 **光る笑顔の交流**
こころ通い合う「人×ひと」
スポーツを通して、世代を問わない健康交流
まちの文化の交差点
蘇る「岡本太郎」の魂
クローズアップ【とうおん人】

12 **東温スポットNOW**

13 **輝ける明日のために**
安心の暮らしづくり
「地球と仲良く」がテーマ
東温eco活動

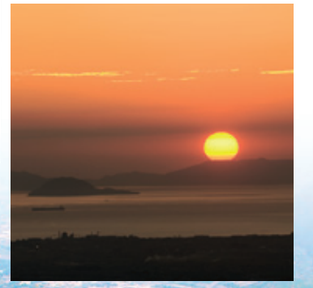
16 **【特集】飛沫のきらめき紀行**
重信川水系の自然
自然との調和

20 **いにしえの軌跡**
[東温歴史探訪]

22 **とうおんキラリMAP**
東温ブランド紹介
クローズアップ【とうおん人】

24 **いのち輝き 緑あふれる 東温市**
総合計画施策の大綱と基本計画の概要
地球と共生する快適環境のまち
みんなが元気になる健康福祉のまち
心豊かに学びあう文化創造のまち
創造性と活力に満ちた元気産業のまち
自然と調和する快適な都市基盤のまち
みんなでつくる協働・自立のまち
行政・議会

33 市の概要、東温市のプロフィール



輝きに満ちたまち
東温市へようこそ。

Welcome to a cheerful Toon

発刊に寄せて

東温市長
髙須賀 功
Mayor, Isao Takasuka

東温市は、面積211・45平方キロメートル、約3万4800人の人口で、県都・松山市に隣接する都市近郊型の田園都市として、平成16年9月21日に誕生いたしました。

水と緑の豊かな自然に恵まれながら、古くから交通の要衝として開け、現在では、高速道路インターチェンジや基幹的な総合病院などの立地、大型店舗や観光施設の進出など、地域を越えた交流の拠点ともなっており、「安心して住める街・全国806都市ランキング」や「団塊が住みやすい街ランキング」などでも、全国上位にランクされるという、非常に高い評価を受けております。

私たちは、こうした地域の特性や固有の財産を大いに活用しながら、夢と希望に溢れる故郷の創造を目指し、平成18年度に東温市総合計画「あなたが創るとうおん未来プラン」を策定し、「いのち輝き　緑あふれる　東温市」の将来像に向けて、着実に歩みを進めております。

さて、このたび、本市の歩みを振り返るとともに、生き生きと活躍する皆様方の姿を紹介する市勢要覧を発行いたしました。

この冊子をご高覧いただき、私たちのふるさと「東温」になお一層の理解と愛着を深めていただくとともに、さらなる市政推進のため、皆様方のお力添えを賜りますようお願いいたしまして発刊のご挨拶といたします。

Toon became a city on September 21, 2004 with an area of 211.45 km^2 and a population of a little more than 34,800. The area was settled long ago because of the rich natural environment and its strategic location along important thoroughfares. Today, it is the focal point of exchange beyond the immediate region. The city has crafted and adopted a general plan that capitalizes on these features of the local area in 2006 and is today making steadfast progress towards a future image of Toon as a "radiant green-rich city".

快適な暮らしのため、それぞれのライフステージがここにあります。

You find all of the means here for a comfortable life.

恵まれた自然環境の中で、
子どもも高齢者も、住む人も訪れる人も、
産業も文化も、すべての「いのち」が
常にいきいきと輝いていると実感できるまちへ―、
それがわたしたちみんなの願いです。

人々の憩いの拠点

重信川かすみの森公園

東温市の中央を流れる重信川は愛媛県を代表する一級河川で、都市近傍の自然豊かな川として、多くの自然の恵みを与えています。

重信川からはたくさんの支流が分かれ、周辺には多くの泉やわき水があります。それらの自然環境は、やすらぎの空間として親しまれています。なかでも、重信川に現存するかすみ堤の一つをそのまま利用した「重信川かすみの森公園」は、自然林がそのまま残ることで知られています。園内には小川が流れ、多くの人が思い思いに散策を楽しんでいます。

川内公園は広大な吹上池に浮かぶ中の島で、その景観の美しさから、市民の憩いの場となっています。

塩ヶ森ふるさと公園は、標高525メートルの塩ヶ森山頂付近にあり、遠くは中国山脈まで見わたせる展望台からの大パノラマを満喫できます。遊歩道の散策では、春の桜・シャクナゲ、夏のアジサイ、秋の紅葉が、訪れる人々を楽しませてくれます。

上林森林公園には、水の森・光の森・風の森の3つのエリアがあり、特に風の森にある風穴は、岩穴から四季を通してほぼ一定の風が吹き出し、夏になると外気との温度差により神秘的な霧が発生することから、涼を求める大勢の人々で賑わいます。

住みよさランキング

全国806市区中（愛媛県内第1位）67位

安心度　全国19位

「都市データパック2009」東洋経済新報社より

輝ける憩いの舞台

A happy recreational place

川内公園　腕を伸ばした老松が静寂な佇まいをみせる公園です。

A bastion for relaxation

The Shigenobu River has many tributaries and there are full of fountains and springs near the river. This natural environment is well known as a place of rest and relaxation. Residents indulge in the Kasumi no Mori (forests) Park, the island rising from Fukiage Lake of Kawauchi Park, the panoramic view from Shiogamori Furusato Park and the water, sunshine and wind zones of Kamihayashi Shinrin Park.

風穴-上林森林公園

塩ヶ森ふるさと公園

見奈良天然温泉 利楽

寝湯、圧注風呂、歩行湯、家族風呂やマッサージ、レストランなど、施設も充実しています。

クローズアップ とうおん人 Toon Jin

みんなで力を合わせてこの地域を「ひまわりの里」にしたい

上林を考える会は、少子化による児童数の減少の課題解決に向けて、平成16年4月に区内全戸会員で設立しました。上林の将来を担う子どもたちのために、地域全体で、ふるさと上林の良さの掘り起こしに取組んでいます。特に、環境問題へ力を入れ、環境先進地を目指して活動しています。

昨年から、「上林ひまわりプロジェクト」として、地域の一人ひとりが、ひまわりを一本ずつ植えるという活動を始めました。さらに、その植えたひまわりの種から食用油をつくり、その製造過程で排出されたカスを堆肥として使い、使用済みの食用油はBDFとして利用することを目指しています。昨年は、そのBDFを使ってカートを走らせました。今年も、同様のイベントを開催しましたし、これから上林から東温市内へと少しずつ活動の場を広げていって、将来、ひまわりの里をつくれたらと思っています。

こうした活動を通じて、子どもたちや地域の一人ひとりが、環境について少しでも考えるようになってくれたらうれしいですね。

上林を考える会の活動に対して、地域のみなさんは非常に協力的で、まるで家族のような雰囲気があります。この活動を通じて、人とのつながりができたことは、わたしにとって大きな財産となりました。

地域のみんなが協力すれば、いろんなことができるはずです。これからも環境問題への取り組みや地域を盛り上げる活動を続けて、この地域が魅力的なところだということをPRしていきたいですね。

上林を考える会・代表
森 昭治 さん
Syoji Mori

「上林ひまわりプロジェクト」は少しずつ広がりつつあります。

Everyone is joining together to create a land of sunflowers.

The Kamihayashi wo Kangaeru Kai was formed by neighborhood association members in April 2004. The organization is active in promoting the environmentally-advanced local community. Since last year, they have been running the Kamihayashi Himawari Project in which everyone in the area planted sunflowers. The goal is to make cooking oil from the sunflower seeds, use any discarded plant material as compost and utilize the used cooking oil as BDF. I'm happy if this activity is helping children and local residents think about the environment.

暮らしを豊かにする和みの場

東温市は、いろいろな子育て支援を行っています。そのうちの一つとして児童館の整備を積極的に進めており、現在、いわがらこども館、さくらこども館の2つの児童館があります。遊戯室のほかに、図書室なども備え、子どもたちの遊びの場、学びの場として多くの親子に活用されています。

森の交流センターの前の重信川の土手は、春には一面の桜並木となります。土手の上はサイクリングロードになっていて、車を気にせずにのんびりとサイクリングや散策を楽しむことができます。

見奈良天然温泉利楽は、西日本最大級の野天風呂が自慢です。深さ1500メートルから湧水する源泉は、泉温49℃と高温で、泉質はナトリウム塩化物・炭酸水素塩温泉で、神経痛や筋肉痛などの治療に効果があり、多くの人で賑わっています。

花とのふれあいや学習の場として一般にも開放されている花き研究指導室は、春と秋に花の祭典が開かれ、花時計のある美しい広場や立体花壇、色とりどりの花が咲く園内は、一年を通して見ごたえがあります。

Friendly places for a more rewarding way of life

Many families spend time at the Iwagara Kodomo-kan and Sakura Kodomo-kan, while the banks of the Shigenobu River in front of the Mori no Koryu Center are great for relaxing bicycle rides and strolls. Another popular spot is the largest outdoor hotspring bath in Western Japan found at Riraku Spa. The Kakikenkyushido-shitsu (Ornamental plants research room) is beautiful throughout the year with spring and autumn flower festivals, a beautiful plaza with a clock made of flowers, vertical flowerbeds and colorful flowers in bloom everywhere in the park.

いわがらこども館

さくらこども館

森の交流センター

庭園見本・茶庭・緑の迷路・生垣・香木園・花木園・芝生園・亜熱帯植物展示館など各種の施設があります。

光る 笑顔の交流
Exchanges of happy smiles

国際交流

海外派遣や市内に住む外国人と交流する機会を増やし、市民レベルでの主体的な国際化を目指しています。

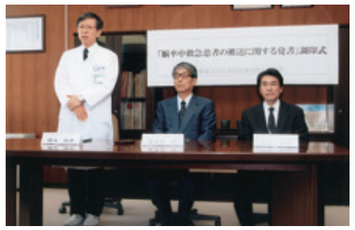
こころ通い合う「人×ひと」

まちの中では、いろいろな分野で、いろいろな人たちが活発に交流をしています。そのうちの一つが、今後ますます活発化すると予想される国際交流です。東温市では、市民の海外派遣による国際交流事業を行っているほか、国際交流にかかわる民間団体への支援を行い、市民レベルでの国際交流を進めています。

一方、平成19年には、東温市と愛媛大学が地域の発展に資することを目的に協定を締結しました。この協定締結によって、愛媛大学が市政に協力をしたり、医療・福祉分野で両者が連携したりといった交流がより一層進み、今後のまちづくりに生かされていくことに期待が高まっています。

また、愛媛県森の交流センターでは、森林ボランティア団体と一般の人たちとの交流を深めることにより、一人ひとりの「森林環境の保全」と「森林との共生する文化の創造」への意識を高める普及活動を行っています。

さらに、自然の中で過ごすことによって、子どもの感性を育てる「森のようちえん」の場所としても活用されています。



愛媛大学との連携

東温市と愛媛大学は、医療福祉の向上、教育の振興、環境の整備、産業の活性化及び市民の安全・安心の推進などについて相互に連携協力を行っています。

Heart-to-heart communications

Besides official international exchange programs, Toon promotes international exchange on the grassroots level by supporting citizens' groups.
In 2007, Toon City and Ehime University signed an agreement to cooperate in developing the local area. Expectations are growing that the agreement will add to future urban development.
Moreover, the Mori no Koryu Center of Ehime Prefecture is deepening exchange activities with forest volunteer groups and the general public so as to enhance awareness of forest protection and preservation.

愛媛県森の交流センター

暮らしの中で森林と出会い、ふれあうことで、森林を身近に感じるころができる場を目指し、愛媛県森の交流センターではさまざま活動を行っています。

スポーツを通して、世代を問わない健康交流

スポーツやレクリエーションを通じて、楽しみながら健康づくりをしている人が増えています。東温市には、体育協会加盟のスポーツ団体が17団体、スポーツ少年団が17団体あり、これらの団体を中心として自主的なスポーツ活動が行われています。

また、市の施設は、ツインドーム重信、総合公園をはじめ、農林業者トレーニングセンター、重信川緑地公園、川内体育センター、川内庭球場、川内運動場などがあるほか、身近なスポーツの場として、学校体育施設も開放しており、活発に利用されています。

今後は、世代に関係なく、すべての人が生涯にわたってスポーツ活動を行うことができる環境づくりがより一層求められるため、各スポーツ施設の整備・充実やスポーツ団体・クラブの育成、さらには、市民が気軽にスポーツに参加できるような魅力あるプログラムの提供、地域住民が主体となって運営し、誰でも気軽に多様なスポーツ活動を行うことができるスポーツ団体の組織化などを進めています。

市民大運動会

Healthy lives for all through sports

In Toon, there are 17 sports clubs and 17 youth teams registered with the Japan Sports Association. These clubs and teams are the center of voluntary sports activities in the area.
Moreover, public sports facilities like the Twin Dome Shigenobu and General Park are actively used, as are school gymnasiums and playgrounds since they are open to the general public.
Toon is building an environment where all people, regardless of age, can pursue sports activities throughout their lifetime.

ツインドーム重信

大小2つのドームの中には、体育館やアスレチックジムなど、体を動かして汗を流せる施設が備わっています。

アクロス重信

国内最大級の屋内ゲレンデ施設で、年中爽快な滑りが楽しめます。全長90m、幅45mの一般ゲレンデコースと、ワンメイクジャンプ台などがあります。

市民バレーボール大会

舞♥とうおんよさこい

東温市の夏の風物詩「観月祭」で新たに生まれた踊りです。いろいろな人が踊りに参加することで交流が活発となり、「観月祭」を一緒に盛り上げています。

コスモスまつり

18,000平方メートル(約5,400坪)のコスモス畑で、約100万本のコスモスが咲き誇ります(9月上旬～10月上旬)。

クローズアップ とうおん人 Toon Jin

年間36万人が利用する市内屈指の人気スポットに成長

ふるさと交流館・総支配人
髙須 均 さん
Hitoshi Takasu

平成10年4月1日に開館した「ふるさと交流館・さくらの湯」は、低料金で温泉の泉質がよいと評判で、市内はもちろんのこと、県外の方にも利用されています。一日平均約1000人、年間36万人が訪れ、東温市の観光施設としてすでに定着しているといっていいでしょう。平成21年8月15日には来館者400万人を達成しました。

わたしは総支配人として、現場の管理・監督を任されています。これだけ多くの方に親しまれている施設に携わることはやりがいもありますし、遠方からいらっしゃった方から「こちらのお湯はいいですね」と声をかけていただくと、とてもうれしいですね。

泉質は低調性アルカリ性で、効能は神経痛、筋肉痛、関節痛、疲労回復、冷え性など、それからアトピーや慢性皮膚病にも効くようです。

利用者は高齢の方が多いですが、子ども連れの方もたくさん利用されています。毎日、ここの温泉に入りに来る方もいますし、新居浜市、西条市、松山などから朝風呂に入りに来る方もいます。また、道後温泉が近い道後あたりから来られる方もいます。

「ふるさと交流館・さくらの湯」は、いろいろなイベントが行われる際には、もち麦やその加工品、お酒などの東温ブランドと一緒になってPR活動をしています。これだけ多くの方に親しまれている施設ですから、今後も、産地ブランドやほかの観光施設とも連携をしながら積極的にPRを行い、もっともっと入館者を増やす努力を続けていきたいと思っています。

A popular spot visited by 360,000 people a year

Opened on April 1, 1998, the Furusato Koryu-kan is visited by about 1,000 persons everyday or 360,000 people every year. And, on August 15 this year, they passed the total 4,000,000 mark.
As the general manager, I am in charge of managing and overseeing the facilities. I absolutely love my job because so many people know our facility.
We want to tie up with local brands and tourist spots to aggressively do PR and keep the crowds coming.

地域を越えた交流の場となっている「ふるさと交流館・さくらの湯」

キラリ、とうおんライフ Kirari Toon Life

蘇る「岡本太郎」の魂

「明日の神話」復元作業の様子

メキシコで行方不明となっていた岡本太郎の巨大壁画『明日の神話』(長さ30メートル、高さ5・5メートル)が、約30年という時を経て発見され、修復のために東温市にやってきたのは2005年でした。修復の作業場を提供したのは東温市に本社を置く黒板・ガラス・建材メーカー(株)サカワです。

『太陽の塔』と同時期に制作されたこの作品は、最高傑作の一つと言われていますが、長年にわたって劣悪な環境に放置されていたため、作品は大きなダメージを負っていました。そこで、(財)岡本太郎記念現代芸術振興財団は、この作品を日本に移送し、修復した後に広く一般に公開する『明日の神話』再生プロジェクトを立ち上げたのです。

東温市での修復作業が終わったのが2006年6月。再び『明日の神話』はその輝きを取り戻し、現在は東京の渋谷マークシティ連絡通路内にて公開されています。

世界的に有名な岡本太郎の作品が、東温市で修復されたという事実は、今後のまちづくりにとって大きな力となるはずです。

The revived spirit of Taro Okamoto

In 2005, Sakawa Corporation, a manufacturer of blackboards, glass and building materials came to Toon to restore the gigantic "Asu no Shinwa (Mythology of the Sun)" mural (L30 x H5.5 m) painted some 30 years earlier by Taro Okamoto. They set up a worksite in the city just for the job.
The project was completed in June 2006. The fact that this Okamoto's world-renown work was restored in Toon should add a big push to future urban development.

まちの文化の交差点

毎年、8月の最終土曜日に重信川の河原で行われる観月祭は、愛媛県を代表する夏祭りの一つになっています。約3500発の花火や沿道に並ぶ夜店を楽しみに大勢の人たちが県内外から訪れます。この祭りから「舞♥とうおん踊り連」が誕生し、市に新しい踊りができました。

河原で大鍋を囲むいもたきは、8月中旬～10月中旬に行われる秋の伊予路の風物詩で、たくさんの人で賑わいます。里芋をメインに、鶏肉やこんにゃく、油揚げなどを大鍋で煮込んだ郷土料理は、体の芯まで温めてくれます。

9月上旬に行われるどてかぼちゃカーニバルは、出品された巨大な飼料用かぼちゃの大きさ、色つや、形などを競うコンテストです。市内外から数百点のかぼちゃが大集合し、200キログラムを超えるかぼちゃが出品されることもあります。

ふるさと交流館は、市内外から多くの人が訪れる温泉施設です。ゆったりとした大浴場、気泡風呂、サウナ、うたせ湯、露天風呂などいろいろな種類のお風呂があり、市自慢の人気のスポットとなっています。

Crossroads of culture

The Kangetsu-sai (moon watching festival) held on the last Saturday of August every year along the banks of the Shigenobu River is attended by large crowds from inside and outside the prefecture. This festival is where the Mai Love Toon Odori-ren dance troupe, who has brought a new style of dancing to the city, was born.
Taros cooked with large pots along the river takes place from mid-August to mid-October.
The Dotekabocha Carnival held in early September is a contest where feed pumpkins compete for prizes based on size, color and shape.

いもたき

どてかぼちゃカーニバル

観月祭

花火が夜空を彩り、沿道には夜店、会場は月見踊りやいもたきで賑わい、夏祭りにふさわしい光景が広がります。

キラリ、とうおんライフ
Kirari Toon Life

輝ける明日のために

For a brighter tomorrow

東温市消防署

自主防災組織

安心の暮らしづくり

安心・安全な暮らしを実現するためには、危機管理部門の充実が不可欠です。しかし、場合によっては、防災関係機関による防災・救助活動だけでは十分に対応できないこともあります。そのため、住民の一人ひとりが自分たちのまちを守るという意識のもとで、各地域では自主的な活動が活発に行われています。

東温市には消防本部・消防署のほかに、消防団があります。消防団は消防出初式、年末夜警、研修などの活動を行い、消防本部・消防署と連携を取りながら消火活動や、集中豪雨による水害、行方不明者の捜索などに協力しています。

また、東温市・地域住民・附属病院の三者が一体となり、災害時にも地域で活躍できる人材を育成するためのボランティア研修を実施しています。災害時には、地域の人々が組織的に支援する必要があります。こうしたボランティア研修や防災訓練への積極的な参加や、普段から地域内でコミュニケーションを活発にとることによって、各地域では自主的な防災組織づくりを進めています。

消防団の活動

東温市消防団は、消防出初式、年末夜警、研修などの活動を行い、消防本部・消防署との連携を取りながら安心・安全のまちづくりの礎をになっています。

見守りパトロール

各学校やPTA、地域との連携のもと、児童・生徒の登下校時の安全を確保するための安心・安全パトロールを行っています。

Making life safe and secure for all

Toon has a fire headquarters, fire stations and fire brigades. The fire brigades work with the fire headquarters and fire stations to put out fires, sandbag against floods and search for missing persons. Moreover, the city government, local residents and the Ehime Juzen School of Allied Medical Professionals Hospital operate as one in developing human resources to aid the local area in times of disaster. By coordinating their activities, they are encouraging different areas to form their own volunteer crisis management organizations.

東温スポット NOW

坊っちゃん劇場

地域に根ざす「奇跡の劇場」

東京や大阪など大都市でなければ劇場文化は成功しないというのが、これまでの常識でした。その常識に挑戦する、客席450人で客席との一体感を大切にした本格的なミュージカル劇場が松山市に隣接する東温市に誕生して来年（平成22）は5周年を迎えます。

東温市は人口3万5000人。愛媛県で一番小さい市で、今年は芝居を楽しむお客さんが9万人を超え、やがて10万人に達しようとしています。これは全国的に見ても奇跡だと言う文化芸術の専門家もいるほどです。

名誉館長のジェームス三木さんが脚本演出した、ミュージカル「坊っちゃん！」（06年4月）が初演。2作目はロミオとジュリエットを四国の狸文化で表現したミュージカル「吾輩は狸である」、3作目はミュージカル「龍馬！」、4作目は瀬戸内海文化に素材を求めた、ミュージカル「鶴姫伝説」。来年の5周年はミュージカル「正岡子規」など四国、愛媛県の地域の歴史的・文化的伝統に根ざした、意欲的な舞台に大きな期待が寄せられています。

個性ある地域づくりが求められているなか、「坊っちゃん劇場」の誕生は東温市の文化芸術はもとより、観光、産業などの地域振興に大きな役割を果たしたそうとしています。

A miracle in theater rooted in Toon

Most people believed that theater could survive only in large cities. As a challenge to that, an authentic musical theater was opened in Toon and next year (2010) will mark their fifth year of business.
This year, in the smallest city of Ehime Prefecture, more than 90,000 people have come to enjoy shows and the total attendance likely to top 100,000 by year's end. This feat has been classified as a miracle in Japan by some performing arts experts.
The launch of Botchan Theater has not only done great things for the performing arts in Toon but has also played a major role in promoting tourism, industry and the area as a whole.

「龍馬！」

「鶴姫伝説」

オープニングセレモニー

「吾が輩は狸である」

「坊っちゃん！」

名誉館長
ジェームス三木
Jamusu Miki

脚本、演出、映画監督、小説など多彩に活動

1935年6月10日、旧満州奉天（瀋陽）生まれ。大阪府立市岡高校を経て、劇団俳優座養成所に入る。1955年テイチク新人コンクールに合格、13年歌手生活。1967年「月刊シナリオ」のコンクールに入選。野村芳太郎監督に師事、脚本家となり現在に至る。

主な作品は、映画「さらば夏の光よ」「ふりむけば愛」「善人の条件（監督も）」。演劇「翼をください」「花丸銀平」「真珠の首飾り」「さぶ」「つばめ」。小説「八代将軍吉宗」「存在の深き眠り」。テレビドラマ受賞作品は、「けものみち」テレビ大賞優秀番組賞（82）、「澪つくし」第7回日本文芸大賞脚本賞（86）、「父の詫び状」プラハ国際テレビ祭グランプリ（87）、「憲法はまだか」「存在の深き眠り」放送文化基金賞脚本賞（97）、「弟」第13回橋田賞大賞（05）。

Active as a playwright, actor, movie director and novelist

Born in Fengtian (now Shenyang), Manchuria, on June 10,1935, James Miki attended Ichioka High School in Osaka Prefecture before entering the acting school of the Gekidan Haiyu-za theater troupe. In 1955, he passed the Teichiku New Talent Contest and spent the next 13 years active as a singer. In 1967, he won the Gekkan Scenario contest. He studied under the movie director, Yoshitaro Nomura and has been a playwright ever since. His works have been highly rated in diverse fields including movies, theater, novels and TV dramas.

キラリ、とうおんライフ Kirari Toon Life

「地球と仲良く」がテーマ

自然との共生をもとに、環境を重視した持続可能な循環型の社会づくりに向けて、バイオマスタウン構想の推進、エコ・キッズ支援事業などによる環境教育の充実に取り組んでいます。市全体化石燃料使用量の20％削減を目標として設定し、太陽光・太陽熱やバイオマスの利用促進を目指しているほか、ヒマワリ油のブランド化に取り組む「えひめヒマワリ・プロジェクト」や市内間伐材でペレット製造・燃料実験、給食センターほか廃食用油のBDF化などを試みた「バイオマス・フェスティバル」なども開催しています。

また、毎年30万人以上の入浴者がある「さくらの湯」は、泉温40℃の特性を活かし、浴槽で使用したろ過済みの温泉水を、夜間にヒートポンプシステムを稼動させ温水タンクに蓄熱し、これを用いて浴槽水などの加温の熱利用をしています。さらに、民間企業が開発する「東温エコの森工業団地」でも、環境に配慮した企業の立地を進めています。

ごみの回収

美しいまちづくりサポーター制度の活用を図り、自然生態系の保全に努めています。

Under the theme of "A friend of the planet"

Toon is working to enhance environmental education by promoting a Biomass Town Vision and Eco Kids Support Project. The city is encouraging the use of solar power, solar heating and biomass in order to attain a fossil fuel reduction target of 20%. Moreover, the city is part of efforts to stage a "Biomass Festival" that attempts to develop a local sunflower oil brand, make pellets from yard trimmings for a fuel test and utilize used cooking oil from school kitchens and elsewhere as BDF.

森のようちえん

自然環境の中での幼児教育や保育をする「森のようちえん」を実施しています。自然の中で、創造力やコミュニケーション能力などが育っていきます。

環境の日

5月30日から「環境の日」である6月5日までの1週間にわたり実施する「ごみ減量・リサイクル推進週間」で、さまざまな活動を行っています。

エコの森工業団地

さくらの湯

自然環境の保全などの環境問題への対応やバイオマスエネルギーなどの新エネルギーの導入、省エネルギーの促進、エコ・キッズ活動の支援などの環境教育、東温市は市民とともに多面的なエネルギー・エコ活動を行っています。

とうおん eco えこかつどう 東温エコ活動

Toon Eco Activities

自然のなかで遊ぶことって、すごく楽しい！

1 エコ・キッズ活動

Eco Kids activities

子どもたちが環境意識を培うためのさまざまな活動を行っています。地域の自然環境への愛着を深め、自然環境保全への意識を高めることを目的とした自然観察会「とことこクラブ」、子どもたちが、木とふれあい、木に学び、木と生きることを学ぶ「木育（もくいく）」、キッズISOなど。また、学びの場として「東温市エコ・キッズ・フェスティバル」を開催しています。

2 木材利用

Putting wood to good use

いわがら子ども館、川上小学校や公園のトイレなど公共施設で、間伐材などを使った木質化を進めています。また、新・省エネルギー導入推進事業として、新しくなった学校給食センターにペレットストーブを2台、ふるさと交流館「さくらの湯」にも1台導入しています。

てんぷら油で車が動くんだ！

3 3R（発生抑制・再利用・再生使用）活動

3Rs (Reduce, Reuse and Recycle waste) activities

ごみの分別の徹底、生ごみの堆肥化のほか、家庭のてんぷら油（廃食用油）を回収して、バイオディーゼル燃料（BDF）に再資源化して給食配送車やごみ収集車両の燃料に利用する取り組みを行っています。また、市内の小中学校では、アルミ缶リサイクルなどにも積極的に取り組んでいます。

キッズISO（アイ・エス・オー）

挑戦しています！

エネルギーの使い方はぼくらに任せて！

東温市は、子どもたちが家庭における省エネルギーなどの取り組みを通じて環境マネジメントの手法を学ぶ「Kid's ISO 14000 プログラム」を実施しています。

環境マネジメントとは、組織の活動によって生じる環境への負荷を常に低減するよう配慮することです。子どもたちは、「家庭」を「組織」とみなし、自分たちがリーダーとなって組織の方針を決めて実行に向け努力します。

キッズISOの取り組み方

1. 家庭のエネルギー使用の現状をチェックする。（電気・ガス・水・ごみ）
2. エネルギーの使い方について、現在できていること、できていないことの項目をチェックし、現状を分析した上で、子どもが省エネに関する作戦を考える。
3. 家族に呼びかけて作戦を実行しながら、再度エネルギーの使用状況をチェックし、記録をとる。
4. その結果を以前のデータと比較し、自分の作戦等について考える。

特集 Special

飛沫のきらめき紀行

The sparkle of natural beauty

深き森と清らかな水に育まれた時おりおりの景色があります。

唐岬の滝
重信川の支流、表川の上流にある滝。水量は多めで、平面的な岩盤が様々な角度で連なった上を、優美に流れる様が、まるで布を引いたような美しい流れを持っています。

美しきまちの自然を巡る

Surrounded by a lush natural environment

東温市は、市の北部に源を発する重信川が流れ、上流では阿歌古渓谷をはじめとする渓谷美をつくり出し、市の中央部では豊富な伏流水をたたえているほか、その流域には泉やため池も数多く存在します。東温市をはじめ、松山平野全域に生活水を供給するとともに、本流・各市流域の恵まれた自然環境は、市民にうるおいとやすらぎを与える空間として親しまれています。

また、石鎚山地、南に皿ヶ嶺連峰、北に高縄山塊を望み、三方を山々に囲まれた緑豊かなまちで、とくに皿ヶ嶺連峰県立自然公園には、滑川渓谷や白猪の滝、唐岬の滝などの景勝地が数多くあります。

さらに、松山平野につながる平坦地や表川沿いの扇状地には、美しくのどかな田園風景が一面に広がっています。

「東温市まちづくりアンケート調査」の結果でも、環境に対する満足度で「自然環境の豊かさ」がほかを引き離してトップとなったほか、中学生が考える市の自慢も「豊かな自然」が最も多くなっています。

大切に守り育ててきたこれらの自然は、多くの人々にいこいと安らぎ、そしてさまざま恵みを与えるかけがえのない財産であり、貴重な地域資源です。これからも環境保全を基本に、自然と触れあう空間の保全と創造を進めていきます。

The Shigenobu River supplies water to the entire Matsuyama Plains where Toon is found. The natural environment that beautifies the main river and its basin of tributaries is known for the charm and relaxation it brings to residents.
Moreover, Toon is surrounded on three sides by mountains with Mt. Ishizuchi to the east, Saragamine mountain range to the south and views of Mt. Takanawa to the north. Across the flatlands that lead into the Matsuyama Plains and the alluvial fan of the Omote River spreads out a beautiful pastoral landscape of rice paddies.
This wondrous natural environment is an irreplaceable asset and valuable regional resource.

雨滝
雨乞いの行場として知られる景勝地が「雨滝」です。白猪、唐岬の滝水を集めて落下する水の音、樹林に覆われ昼でも暗い滝壺は、祈りの場にふさわしい空気が漂っています。

白糸の滝 水が白い絹のように流れ落ちる優雅な滝で、四季の変化を楽しむことができます。

三ヶ村泉 湧水量が豊富で、自然豊かな雑木林に囲まれた幻想的で美しいその景観は、数ある泉で唯一「四国のみずべ八十八ヶ所」にも選ばれています。

除ヶの壇堤

森之木泉

阿歌古渓谷

重信川水系の自然

The natural environment of the Shigenobu River System

東温市の自然は、重信川を抜きにしては語れません。その流れをたどると標高千メートルを超える東三方ヶ森や皿ヶ峰が現れ、その頂上付近には鬱蒼とした原生林が生い茂っています。

重信川は、典型的な扇状地河川であるため、河川水が伏没する瀬切れが発生することがありますが、河川周辺の「泉」が、魚類の産卵場所として、また瀬切れ時・洪水時の避難場所として、貴重な動植物のオアシスとして存在しています。

現在残されている「泉」は、これまで人とともにあり、人の手による管理が行われてきました。

その多くは、江戸時代にかんがい用水として開発されたもので、人々の暮らしの一部として脈々と引き継がれています。現在も多くの泉が存在し、河川と霞堤や水路でつながり良好なビオトープネットワークを形成しています。

The natural environment of Toon cannot be talked about without mentioning the Shigenobu River. Following its course takes one into the Higashisanpo Forest and Saragamine Peak at elevations above 1,000 m. Near the summit grows a dense virgin forest.
The springs along the Shigenobu River are spawning grounds for fish as well as where they seek refuge during droughts and flooding. The river, open levees and waterways form a network of biotopes.

皿ヶ嶺

山の北斜面は中央構造線に当たり断層が多く見られます。このため中腹までは急傾斜が続きますが、山頂付近にはなだらかな竜神平が広がり、皿を伏せたような山容であるため、この名が付きました。標高1271m。

白猪の滝 皿ヶ嶺連峰県立自然公園の中にある高さ96mの滝。冬の酷寒期には滝全体が氷の城となって、まさに壮観そのものです。

漣痕化石

一畳庵のウラジロガシ

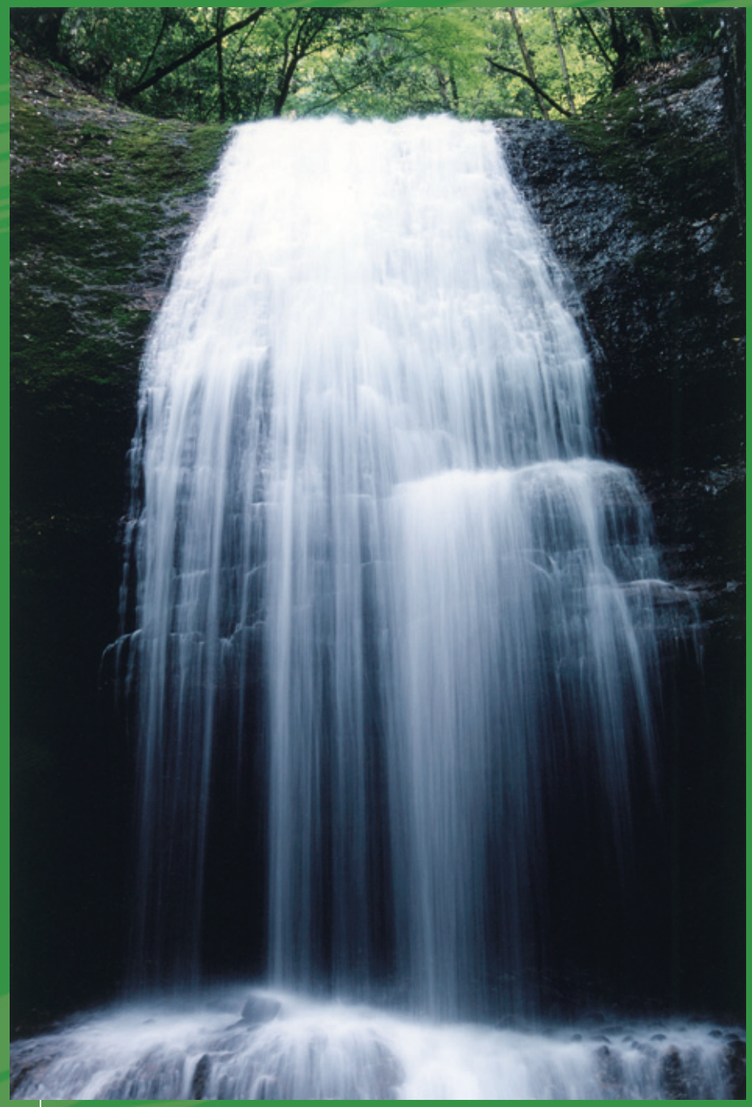
上林水の元そうめん流し 皿ヶ嶺連峰県立自然公園の雄大な自然を背景に、道後平野を眺めながら楽しむそうめん流しは格別です。皿ヶ嶺登山や風穴を訪れた際に立寄るスポットとしても定着しています。(7～8月)

かれた登山道を歩いて山頂にたどり着くと眼下に竜神平があります。皿ヶ嶺連峰の縦走路に位置する竜神平は、麓からフラットに見える稜線部分で、なだらかに広く開けていて、皿ヶ嶺湿地が形成されています。その湿原は貴重な植物も多い場所です。

滑川渓谷は、皿ヶ嶺連峰県立自然公園に含まれていて、長い歴史の中で侵食された砂礫岩の奇妙な岩肌や1キロメートルにおよぶナメラの河床、そして流れ下る碧の水は、あたかも仙人境。自然の中に身をあずければ、悠久の歴史が静かに語りかけてきます。

自猪の滝は、皿ヶ嶺連峰県立自然公園の中にある高さ96メートルの滝です。重信川の上流、表川白猪越の渓にかかり、その落下する姿はまさに自然の偉大さを感じさせます。

Saragamine Prefectural Park is blessed with a rich natural environment of hills and valleys formed by the sacred Ishizuchi Mountain Range in the east.
And, there are numerous spots for indulging in the great outdoors such as Mizunomoto with its pristine waters filtered by Mt. Saragamine, Kamihayashi Shinrin Park, which is managed by Toon City, the Ryujin Plains located along the route to the summit of Saragamine mountain range, Namekawa Gorge with its odd rock formations and kilometer-long smooth riverbed, and Shirai Falls that plummet from a height of 96m.



滑川渓谷 長い年月をかけて侵食された砂礫岩の奇怪な岩肌や、全長1kmにも及ぶナメラと呼ばれる美しい川床、流水が川床にある小さなくぼみで渦を巻き小石が内側を削ってできた甌穴(おうけつ)など、自然が創り出した芸術の世界を堪能できます。秋の紅葉、真夏の避暑にもおすすめのスポットです。

山椒ヶ崖

重信川の上流、表川の浸触作用でつくられた崖で、屏風を立てたような絶壁です。

揚神社のクスの木

樹齢推定700年のクスの木。周囲7.8m、地上で2大幹となっていて、高さ36m。市内の同種のものでは最も古く巨木です。

自然との調和
Harmony with Mother Nature

皿ヶ嶺連峰県立自然公園は、東部の霊峰石鎚山系と連なり、豊かな自然と渓谷美に恵まれています。皿ヶ嶺という名前は、フラットな稜線がまるで伏せたお皿のように見えるところから付けられました。

上林森林公園手前にある「水の元」は、皿ヶ嶺に磨かれた美味しい水場です。清水を生かしたそうめん流しが、夏休み限定で開かれています。

上林森林公園は、東温市が管理する森林公園で、避難小屋、キャンプ場、遊歩道、多目的広場が整備されています。天然のクーラー「風穴」は夏でも岩の穴から冷気が吹き出す名所です。

ブナの巨木が林立する原生林に拓

東温歴史探訪

いにしえの軌跡

History of Toon / Path to Antiquity

早い時期から高度な稲作文明を持ち新田開発によって発展

東温市には弥生時代の遺跡が発掘調査で見つかっています。このため、2000年前には集落が作られ、人が生活を始めていたと考えられています。古墳時代になると、市内各所に古墳が造られました。特に弥生時代の遺跡からは、石包丁などの稲作に関係する物も見つかっていることから、稲作が行われていたと考えられます。

この地域の開拓が本格的に進んだのは中世以降と言われています。ただ、伊予川（現・重信川）は氾濫が多い危険な川であったため、水害による被害にも悩まされ続けました。

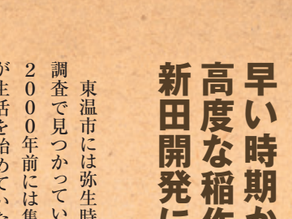
江戸時代になると、松山城の城主である加藤嘉明が、重臣である足立重信に伊予川の改修工事を命じ、その工事が完成したことで新たな新田が拓かれました。足立重信の名は、旧重信町や重信川の名前へと受け継がれています。

その後、用水も整備されて、この地域はあますところなく開発されていきましたが、川の流域面積が限られていることに加えて、道後平野は年間降雨量も全国平均より少ないため、常に水不足に悩まされることになりました。さらに、松山藩は税率が高かったため、一揆も絶えませんでした。

今の東温市は、先人たちのこうした厳しい生活や智恵、工夫のうえに成り立っています。

川上旧街道（金比羅街道）

東温市は、古くから交通の要衝として開け、人や物、情報の交流をとおして、文化や産業を支えてきました。町筋を通る金毘羅街道には、さまざまな旅人が行き交う活気があふれていたと言われています。



隻手薬師（香積寺）

高野山真言宗のお寺で、隻手薬師の名で親しまれています。毎月12日が縁日で、特に初薬師、節分、4月、終薬師は大いに賑わいます。

一畳庵

河之内音田にある惣河内神社の社務所。俳誌「渋柿」を創刊した松根東洋城（芸術会員）はこの社務所で俳句の境地を説き、門下の育成に専念しました。

牛渕のねり行事

時代絵巻に登場するような装束姿をした200名にもおよぶ行列で人々を魅了しています。

川上神社古墳

横穴式であること、巨石を使用していること、そして出土品などから7世紀中頃（大化の改新）の後末期古墳であると言われています。

医王寺厨子

天文3年(1534年)頃の作で、一間厨子といい間口が一間あり、正面103cm、側面73cm、棟高289cmの入母屋造・妻入で屋根はこけら葺となっています。国指定の有形文化財です。

木造随身立像

三島神社の随身門には、本殿と同時代の作と言われる左大神二体の随身立像があります。

三島神社本殿

南北朝時代(1339年頃)の建立とされ、三間社流造銅版葺です。構造は、切妻造平入となっていて正面4.2m、側面4.5mの国指定の重要文化財です。

A sophisticated rice-growing culture since early times

Digs in Toon have revealed settlements from Japan's Yayoi Period and evidence that rice was grown long, long ago.
It is said that the area was developed outright from the Middle Ages onward. Come the Edo Period, Yoshiakira Kato, the lord of Matsuyama Castle, commanded senior statesman Shigenobu Adachi to redirect the Iyo River and had new rice paddies built when that river work was finished. After that, every inch was developed without waste. Toon today exists because of the great efforts of its forefathers.

市の成り立ち

Parent towns formed in 1956

前身の2町は昭和31年に誕生

明治以降、東温市の前身である2町は、幾度かにわたり、それぞれ合併編成を繰り返してきました。そして、昭和31年（1956年）に北吉井村・南吉井村・拝志村の三村が合併して重信町が生まれ、同年、川内村と周桑郡中川村の一部が合併して川内町が誕生しました。

その後、両町は、恵まれた自然環境と松山市に隣接しているという地理的条件から、都市近郊田園都市として発展を続けてきました。

そして、平成16年（2004年）に、旧温泉郡重信町と川内町が合併して誕生しました。もともと両町は重信川をはさんで市街地もほぼ隣り合わせであり、一体感があったため、合併は自然な流れのなかで実現しました。

名前の由来は？

「東温」という名称は、古くから使われてきた呼び名で、現在の東温市から松山市のほぼ北半分、旧北条市の半分、中島町を含む広大な面積が温泉郡の東の地域であったことに由来しています。

長い歴史と文化を共有し、豊かな水と緑などの自然環境に囲まれて発展してきたこの地域は、松山圏東部の独立した核として、あらゆる世代の人が安心して暮らすことのできる田園都市機能の実現を目指してきました。それは新しい東温市となった後も受け継がれ、活気あふれる地域として発展し続けています。

合併記念式典

Parent towns formed in 1956

Since the Meiji Period, repeated mergers by townships led to the creation of Shigenobu and Kawauchi in 1956. Development of suburbs and agriculture continued on the outskirts of the two towns until finally merging into Toon in 2004.

Where does the name Toon come from?

The name Toon comes from the fact that the area lied east (To) of Onsen-gun (On) [the hot springs of Dogo Onsen (Botchan), etc].

クローズアップ とうおん人 Toon Jin

東温のどぶろくを味わってください

東温市は石鎚山系の豊かな水と肥沃な土壌に恵まれた地域で、おいしい米や麦の生産が盛んなことで知られています。そのおいしいお米と水を使って、わたしたちはどぶろくをつくっています。平成20年4月に東温市が「どぶろく特区」に認定され、12月に、わたしたち3つの蔵元の製造が認可されました。

どぶろくは半月ほどで一応は飲める状態になりますが、米の性質や水の違いはもちろん、仕込み、その後の熟成の時間・温度によって味は異なります。現在、東温市のどぶろくは3つの蔵元がそれぞれオリジナルの味を追求して醸造しているので、その味の違いを楽しんでいただけたらと思っています。

最近になって、東温市のどぶろくは、少しずつ知名度が上がってきていると感じています。イベントで販売を行うと、「一度飲んでみたかった」とか「珍しいから、お土産にしたい」と言って、買い求められる方が結構いらっしゃいます。

どぶろくは、お米と水、酵母だけを使ってつくっており、水飴も醸造アルコールも含まれていません。つまり、不純物が混ざっていない完全な純米酒であるとともに、非常に安全なお酒であるとも言えます。こうした、どぶろくの魅力を多くの人に知ってもらいたいですね。

そのためにも、今後は販売ルートを拡大し、若い人たちにもどぶろくの良さを伝えていきたいと思っています。

どぶろく製造
永井 公一 さん
Kimikazu Nagai
河野 美行 さん
Miyuki Kouno
藤井 省三 さん
Shouzou Fujii

Try the doburoku sake from Toon

In April 2008, Toon was designated a "special doburoku district" and three local brewers were approved for production in December.
The three brewers each seek their own original flavor and trying those differing flavors is quite entertaining.
Doburoku is made from just rice, water and yeast. It contains no simple syrup or brewing alcohol. In other words, it is naturally fermented sake with absolutely no impurities whatsoever, and said to be very safe to drink. We hope visitors will come to know its enchantment better.

おいしい米と清水によってつくられる「とうおんどぶろく」

とうおんブランド Toon Brand

はだか麦 とら巻き

東温産のはだか麦100％生地で焼き上げたとら巻き。小麦粉よりも繊維質が多いのが特長です。

もち麦 せんべい

東温産もち麦を使った味わい深いせんべい。もち麦と醤油の香ばしさがマッチした懐かしい味です。

はだか麦 味噌

東温産はだか麦を使った味わい深い麦味噌です。昔ながらの手作業で仕込み、伝統の味を再現しました。

もち麦 バンズパン

東温産もち麦を練り込んだパン。蒸したもち麦の食感と、ほのかな甘さ、弾力のある歯ごたえが特長です。

もち麦 コーンパン

東温産もち麦のモチモチ感と十勝産スウィートコーンの甘さがマッチしたおいしさです。

はだか麦 饅頭

東温産のはだか麦を30％練り込み、昔ながらの製法でつくった饅頭は、素朴な味わいが人気です。

とうおん キラリ マップ MAP

東温市総合計画

Toon General Plan

東温市の将来像

いのち輝き　緑あふれる　東温市

あなたが創るとうおん未来プラン

市民参画・協働のもとに、新しいスタイルの自治体を創造していくため、市民全員の共通の目標として「東温市総合計画」を策定しました。そして、広く親しまれるように愛称を「あなたが創るとうおん未来プラン」と名付けました。

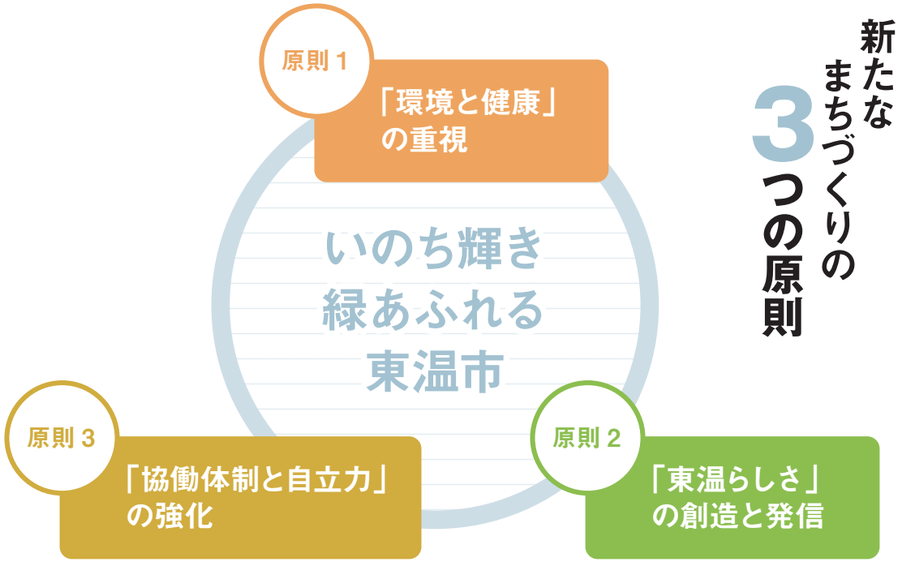
この計画は、すべての分野における行政活動の基本となるもので、「市民みんなの共通目標」「自立した東温市を創造・経営するプラン」「国・県・広域行政への主張」という3つの役割を持っています。

計画の最も大きなテーマを「いのち輝き　緑あふれる　東温市」とし、すべての分野にわたって「環境と健康」の重視、「東温らしさ」の創造と発信、「協働体制と自立力」の強化を原則としたまちづくりを進め、住む人も訪れる人も産業も文化も常に輝いているまちの実現を目指していきます。

Future plan of Toon by the people

The Toon General Plan that the city council is targeting is the basis of government activities in all fields.
The overall theme of the plan is Toon as a "radiant green-rich city," therefore development is being promoted on the principles of emphasizing "the environment and health," establishing and announcing a "Toon style" and strengthening "cooperative structures and self-reliance".

新たなまちづくりの3つの原則



将来像実現のための政策目標

1 地球と共生する快適環境のまち

環境負荷の少ない社会づくりに向けた総合的な環境施策を住民と一体となって進めていきます。また、自然を生かしたうるおいの空間の創造、上・下水道の整備、ごみ・し尿など廃棄物処理対策、さらには消防・防災体制や交通安全・防犯体制を充実させます。

2 みんなが元気になる健康福祉のまち

すべての住民が住み慣れた地域で健やかに暮らすことのできるように、安心して子育てができる環境づくり、高齢者や障害者の自立支援、介護予防や健康づくり事業、ボランティア活動やシルバー人材の活用などを進め、健康福祉のまちづくりを目指します。

3 心豊かに学びあう文化創造のまち

多くの市民が生涯を通じて学びあい、生きがいを持って生活できるように、総合的な学習環境づくりを進めるとともに、住民主体の特色ある学習・文化・スポーツ・交流活動などの支援を行います。また、歴史・文化資源の保存と活用にも取り組んでいきます。

4 創造性と活力に満ちた元気産業のまち

主要産業である農林業の維持・高度化に努めるほか、市街地整備などと連携した既存商店街の環境整備や工業支援施策の強化、付加価値の高い優良企業の誘致、豊かな自然資源などを活用した観光・レクリエーション機能の拡充などに取り組みます。

5 自然と調和する快適な都市基盤のまち

長期的・広域的な視点に立ち、調和のとれた計画的な土地利用のもと、環境と共生する市街地環境の創造や快適な住宅・宅地の整備、利便性・安全性あふれる道路・交通ネットワークの整備、さらには情報通信ネットワークの構築・活用を進めていきます。

6 みんなでつくる協働・自立のまち

すべての人の人権が尊重され、多様な生き方が自由に選択できる社会の実現に向けた取り組みを進めます。また、市民主役のもとにまちづくりが行われるように、地域の交流・連携活動を促進するとともに、新しいコミュニティづくりを支援していきます。

地球と共生する快適環境のまち

環 境負荷の少ない循環型社会を構築するため、新エネルギービジョンに基づく地球温暖化対策やエコ・キッズ活動支援など環境教育による二酸化炭素・ごみの発生抑制、独自のまちづくりプロジェクトによる環境負荷の低減などを、市民・行政・事業所が連携して進めています。

また、うるおいのある水や緑の空間の創造、上下水道の整備、廃棄物処理体制の充実のほか、あらゆる災害や危機に対処できるように消防・防災体制を充実させるとともに、交通事故、犯罪のないまちづくりに向けて防犯・地域安全体制を強化しています。

これら取り組みによって、快適で安心・安全な暮らしが実感できる質の高い住居環境の実現を目指しています。

防災訓練
消防本部・消防署のほか、非常時消防として消防団や自主防災組織が組織されており、互いに連携しながら防火・防災につとめています。

A pleasant environment based on the city's coexistence with the planet

To build a recycling-based society, residents, government and businesses are working together on measures against climate change and reducing CO_2 emissions and waste generation via environmental education.
Moreover, efforts are being directed at creating pleasant waterfronts and green spaces, building potable water and sewerage systems, upgrading waste processing facilities, enhancing fire-prevention and disaster readiness systems, and strengthening crime prevention and community safety structures.

ペットボトルのキャップ回収
ゴミの分別回収に加えて、3R（リデュース、リユース、リサイクル）や「STOP・レジ袋」の推進に取り組んでいます。

親水・新緑空間整備
市民の交流の場として、重信川周辺や森林公園をはじめ、水や緑と触れあうことができる環境の整備を進めています。

上・下水道の整備
整備区域や整備手法、優先順位など、常に全市的な視点から再検討をしながら、計画的に整備を進めています。

基本計画

- □ 環境施策の総合的推進
- □ 公園・緑地・水辺の整備
- □ 上水道等の整備
- □ 下水道等の整備
- □ ごみ処理等環境衛生対策の充実
- □ 消防・防災体制の充実
- □ 交通安全・防犯体制の充実
- □ 消費者対策の充実

みんなが元気になる健康福祉のまち

愛媛十全医療学院附属病院

少 子高齢化が急速に進むことで保険・医療・福祉へのニーズはますます高まってきます。そのため、ヘルスプロモーション（人々が自らの健康をコントロールし、改善できるようにするプロセス）の理念を取り入れ、市民一人ひとりが健康寿命（健康に生活できる期間）を延ばすことができる保健・医療環境づくりを推進しています。それとともに、市民活動が活発な地域性を生かし、市民との協働による地域福祉体制づくりにも取り組んでいます。

また、安心して子どもを生み育てられるように、行政・家庭・地域が一体となった多面的な子育て支援を進めているほか、高齢者や障害者の介護・自立支援や生活保護・国民健康保険・国民年金などの社会保障の充実に取り組み、みんなが元気になる健康福祉のまちづくりを進めています。

健康診断
県下でも有数の健康診断体制を整え、子どもから高齢者まで、きめ細かな保健サービスの提供に努めています。

A city where everyone is active, healthy and cared for

Toon is building its health and medical care environment so as to prolong the period of life in which people are healthy and active. The city is also working with residents on building a regional welfare system.
Moreover, the government, families and communities are acting as one in providing support for child-rearing, as well as in improving social security via care for the elderly and mentally/physically challenged, support for personal autonomy and guaranteed livelihoods, and delivery of public health care and national pensions.

デイサービス
介護予防や介護サービスの向上に向けた指導をしているほか、事業実施状況の点検・評価を行い、持続可能な事業展開を図っています。

愛媛大学病院
愛媛大学医学部付属病院、愛媛病院という基幹総合病院のほか、民間医療施設が充実し、非常に恵まれた医療環境にあります。

高齢者スポーツ
高齢者の社会参加や自立・健康増進を目指し、シルバー人材センターの活動や高齢者スポーツ活動を支援しています。

基本計画

- □ 生涯健康づくりの推進
- □ 地域福祉体制づくりの推進
- □ 高齢者施策の充実
- □ 障害者施策の充実
- □ 子育て支援の充実
- □ 社会保障の充実

心豊かに学びあう文化創造のまち

市

民の一人ひとりが生きがいのある人生を送ることができるように、中央公民館や川内公民館、各分館などを拠点に各種教室の開催、学習情報の提供や広報・啓発活動、社会教育関係団体の育成につとめるなど、各世代の要望や地域の特性に対応した総合的な生涯学習環境の整備を進めています。

学校教育では、いじめや不登校の根絶を目指して「よりよい学校生活と友達づくり事業」に取り組んでいるほか、学校施設は、耐震補強や大規模改修を計画的に行い、安全で安心して学習できる環境の整備を進めています。

また、地域特性を生かした芸術・文化活動、スポーツ活動、国際交流活動などを支援しているほか、有形・無形の文化遺産を保存し、それらを生かしたまちづくりを推進しています。

学校教育

生きる力の育成を重視した教育活動を行い、自ら判断し行動できるたくましい心豊かな人材の育成を目指しています。

A culture for learning from one another and feeling spiritually rich

The living environment in Toon is being developed for life-long learning that is tailored to the various generations and peculiarities of the local area, so that each and every resident can lead a rewarding life.
In the public school system, projects are underway to eradicate bullying and truancy. Moreover, school buildings are systematically being remodeled on a large scale and reinforced to withstand earthquakes so that children can be safe and secure.

基本計画

- 生涯学習社会の確立
- 学校教育の充実
- 青少年の健全育成
- 芸術・文化の振興
- 生涯スポーツの振興
- 国際化への対応と多様な交流活動の促進

市民芸術活動

市民による自主的な芸術・文化活動の育成・支援を通じて、文化の香り高い個性豊かなまちづくりを目指しています。

国際交流

市民の海外派遣による国際交流事業に取り組んでいるほか、民間団体への支援を通じて、市民レベルの国際交流を進めています。

生涯学習活動

市民一人ひとりが生涯を通じて学び、充実した人生を送り、その成果がまちづくりに生かせるような生涯学習社会の確立を進めています。

創造性と活力に満ちた元気産業のまち

農

家と非農家が共同で行う農地・水・環境を守る活動や、中山間地域の農地を守り、活性化するための「里山のお米作りプロジェクト支援事業」に取り組んでいます。また、農商工が連携して「東温ブランド」の販路を開拓する事業、「地産智商」運動などの活動を通じて、自立した農林業の確立を目指しています。

そのほか、市民との協働による商店街の環境・景観整備をはじめ、最先端の技術力、研究所、人材の確保を目的とした「頭脳誘致」、既存企業への支援強化、優良企業の誘致による工業の活性化、恵まれた自然環境や農業資源、「ふるさと交流館さくらの湯」を活用した観光・レクリエーションの振興に努め、創造性と活力に満ちたまちづくり進めています。

「地産智商」に取り組む

農林水産物で付加価値の高い特産品をつくり、全国へ発信する「地産智商」運動を進めています。

A hearty industry full of creativity and vitality

Activities are underway to protect farmland, water resources and the natural environment, while other projects aim to activate agricultural areas in mountainous regions. Moreover, agriculture, commerce and industry are collaborating on developing sales channels for a "Toon Brand" that will establish independence in agriculture and forestry.
Besides that, efforts are being made to activate industry and promote tourism and recreation, by attracting intellectual power that will lead to state-of-the-art technologies, research institutes and human resources.

基本計画

- 農業の振興
- 林業の振興
- 商業の振興
- 工業の振興
- 観光・レクリエーションの振興
- 雇用・勤労者福祉の充実

工業施設

新たな活力の創造に向けて、既存企業の活性化や新産業創出に向けた総合的な施策を積極的に進めています。

特産品

ブランド商品づくりを進めるため、東温市ならではの特色ある農産物の産地化や加工特産品の開発を支援しています。

大型商業施設

にぎわいと活力あふれるまちづくりを目指して、魅力ある商業環境づくりを進め、商業の活性化に取り組んでいます。

自然と調和する快適な都市基盤のまち

長期的・広域的な視点に立ち、豊かな自然環境と都市的環境が調和した市の均衡ある発展に向けた計画的な土地利用を行っているとともに、自然と調和した安らぎと魅力のある市街地環境の創造、旧街道などを生かした特色のある景観づくりを進めています。また、今後も予想される人口増加に対応し、快適な住環境を形成するために土地区画整理事業や、市営住宅のバリアフリー化にも取り組んでいます。

さらに、国・県・市道の整備、市道に架かる橋梁の安全を確保するための修繕計画の策定、伊予鉄道高浜横河原線やバス交通網の拡充・利便性の向上、電子自治体の構築と多様な情報ネットワークの整備などを進め、新たな出会いと飛躍を支え、夢を育む都市基盤づくりを推進しています。

川内IC

市中央部を走る四国縦貫自動車道(川内IC)をはじめ、利便性の高い道路網が形成されています。

Pleasant urban infrastructure in harmony with Mother Nature

Land is being methodically used to ensure harmony between the wondrous natural environment and the urban environment. At the same time, downtown areas are being redeveloped on environment-friendly concepts and a scenic environment that takes from local characteristics, such as ancient byways, is being built. Moreover, as part of efforts to build comfortable living environments, zoning is underway and public housing is being retrofitted for barrier-free living.
Furthermore, a road network of national, prefectural and municipal roads and an information network are being built and enhanced.

公共交通

伊予鉄道高浜横河原線の6つの駅が設置されているほか、路線バス、高速バスが運行し、市民にとって欠かせない足になっています。

地域イントラネット

高度情報化社会に対応した地域の活性化と住民サービスの向上を目指しています。

市街地整備

人と環境にやさしい、歩いて暮らせるまちの実現に向けて、総合的な観点から市街地整備を進めています。

基本計画

- □ 調和のとれた土地利用の推進
- □ 魅力ある市街地の整備
- □ 景観の形成
- □ 住宅・宅地の整備
- □ 道路・交通網の整備
- □ 情報化の推進

みんなでつくる協働・自立のまち

あらゆる人の人権が尊重され、社会のすべての分野に対等に参画できるように、人権教育・啓発活動や男女共同参画社会の形成に向けた取り組みを行っています。

また、住民主役のもとにまちづくりが効果的に行われるように、地域の交流・連携活動を促進するとともに、新しいコミュニティづくりや、広報活動や情報公開の推進、各種計画づくりや公共施設の整備・管理などへ市民・民間の参画を促進するなど、市民と行政の協働体制の強化を図っています。

さらに、本格的な地方分権時代に対応して、顧客主義、成果主義など民間の経営理念・手法の視点から、政策、施策、事業の計画・実施・評価・見直しの仕組みづくりを進めています。

コミュニティ活動

住民自治の地域づくり、地域主導のまちづくりに向け、コミュニティ活動ができる環境・条件整備を進めています。

Cooperation amongst all and autonomy for all

Cooperative systems between government and residents are being strengthened. This includes human rights awareness activities and projects to ensure fair and equal participation in society by both genders. The city is also promoting new community development, PR activities and information disclosures.
Moreover, processes are being promoted for planning, implementing, evaluating and reviewing policies, measures and projects.

ボランティア活動

まちを愛し、住み良い環境づくりを目指すボランティアを支援するため、「美しいまちづくりサポーター制度」を導入しています。

人権啓発活動

人権の大切さをもっと身近に知ってもらおうと市内の各施設を訪問して交流活動が行われています。

市民団体

既存の各種市民団体の活動支援ほか、新たな市民団体やボランティア、NPOの組織化も支援しています。

基本計画

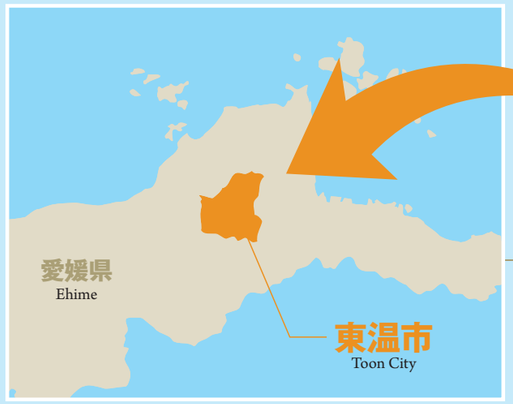
- □ 人権尊重のまちづくりの推進
- □ 男女共同参画社会の形成
- □ 地域コミュニティの育成
- □ 市民と行政との協働のまちづくりの推進
- □ 自立した自治体経営の推進

東温市のプロフィール

PROFILE

東温市は、平成16年（2004年）に、旧温泉郡重信町と川内町が合併して誕生しました。近年は松山市のベッドタウンとして人口が増加しています。旧両町は、それぞれ昭和31年（1956年）に誕生し、恵まれた自然環境と松山市に隣接しているという地理的条件から、都市近郊田園都市として発展を続けてきました。重信川が市の中央を流れ、、両町の南部に位置する石鎚山系に連なる皿ケ嶺連峰県立自然公園は、豊かな自然と渓谷美にあふれています。

「東温」という名称は古くから使われてきた呼び名で、現在の東温市から松山市のほぼ北半分、旧北条市の半分、中島町を含む広大な面積が温泉郡の東の地域であったことに由来しています。



地 勢

愛媛県のほぼ中央に位置し、東西が23.1km、南北が25.5kmで、面積は211.45km²となっています。

東・南・北の三方の山間部と西の松山平野に向かって広がる扇状の平坦地などから形成されています。また、市の中央部を流れる重信川をはじめ、これに合流する表川や東部の山間部を流れる滑川など、水と緑豊かな地勢を有しています。

気候は温暖で、降雨量が比較的少ない瀬戸内式に属しています。

市　章

City Charter

東温市の『と』をデザイン化。躍動する人をイメージしています。赤い丸は夢を育む情熱のまち、青色・緑色は豊かな自然を表わし、二重に重なる構成は二町合併を意味します。未来に躍進する東温市を象徴します。

市の花

さくら

City Flower : Cherry

日本を代表する花として広く愛され、市内には桜三里、源太桜、玉糸桜、塩が森公園、桜づつみ公園、重信川の公園など数々の名所があり、多くの市民に親しまれています。

市の木

はなみずき

City Tree : Dogwood

春から夏にかけて樹冠いっぱいに咲く花や美しい秋の実と紅葉など、一年を通じて楽しめ、育てやすく新鮮さと親しみのある木です。明治の終わりに日本からワシントンに贈った「さくら」の返礼として贈られた木として有名です。

行政・議会

これからのまちづくりには、市民一人ひとりが市の将来を真剣に考え、その知恵と力を結集することが求められています。このため、市では各種委員会の委員等の公募制の導入や女性の市政への積極的な参画促進を行い、新時代にふさわしい住民主役の行政システムづくりを進めています。

東温市議会は、現在18名の議員で構成され、総務文教、厚生、産業建設の3常任委員会と、議会運営委員会などが設けられています。

年4回開催される定例会、必要に応じて開催される臨時会などを通じ、活発な意見交換を行いながら、市民・行政・議会の連携によって市民の声が市政に反映される、開かれた議会を目指して、市民一人ひとりが心豊かに暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

市役所窓口

庁舎全景

本市の行政機構は、総務、市民福祉、産業建設の3部制を敷いており、このほか教育委員会、農業委員会と議会によって構成されています。

Administration and City Council

Toon is promoting a democratic government suited for these times with open recruitment being adopted for all committees and councils, and women being encouraged to play a constructive role in city government.

The Toon City Council has currently 24 members. Via regular and extraordinary meetings, they are reflecting the opinions of residents in city government by coordinating with residents and the administration and ensuring that they remain open to scrutiny and participation.

議員

議会風景

市議会は、市民の意志を行政に反映させるために、市の将来にとって重要な市の予算や条例、施策などを決めています。

ゆたかさ創造都市「とうおん」

ひと・まち キラリ。

東温市市勢要覧

発行 ： 愛媛県東温市
〒791-0292
愛媛県東温市見奈良530番地1
TEL ： 089-964-2001（代）
FAX ： 089-964-1609
URL ： http://www.city.toon.ehime.jp
印刷 ： 株式会社ぎょうせい

Toon City Guide

Published by : Toon City, Ehime Prefecture
530-1 Minara, Toon, Ehime 791-0292
TEL : 089-964-2001 (Operator)
FAX : 089-964-1609
URL : http://www.city.toon.ehime.jp
Printed by : Gyosei Corporation